



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

| 1-1 建物概要 |                        | 1-2 外観 |            |
|----------|------------------------|--------|------------|
| 建物名称     | 公営住宅(月寒団地F-2号棟)        | 階数     | 地上5F       |
| 建設地      | 札幌市豊平区月寒東1条7丁目574-15の内 | 構造     | RC造        |
| 用途地域     | 第一種住居地域                | 平均居住人員 | 84人        |
| 気候区分     | 1地域                    | 年間使用時間 | 8,760時間/年  |
| 建物用途     | 集合住宅                   | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2016年10月 予定            | 評価の実施日 | 2015年8月10日 |
| 敷地面積     | 1,529 m <sup>2</sup>   | 作成者    | 西村 武       |
| 建築面積     | 521 m <sup>2</sup>     | 確認日    | 2015/0/0   |
| 延床面積     | 2,409 m <sup>2</sup>   | 確認者    |            |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

| 3 設計上の配慮事項   |   |  |
|--|---|--|
| <p><b>総合</b></p> <p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全住戸分の駐車スペースを確保、適切な駐車スペースを確保している。</li> <li>・周辺住宅等の建物に対して配置を考慮した。</li> </ul> | <p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各住戸には全熱交換機を設置している。</li> <li>・住宅性能等級4を満たしている。</li> </ul> |  |
| <p><b>B 省資源等</b></p> <p>注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱材にリサイクル可能なグラスウールを採用した。</li> </ul>                                  | <p><b>C 緑化</b></p> <p>注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内に緑地を20%確保している。</li> </ul>                                    | <p><b>D 雪処理</b></p> <p>注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雪対策として集積スペースを確保し、敷地外へ雪を出さないように配慮している。</li> </ul> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される